

平成26年 県政10大ニュース

広報課

今年の主な県政の動き（事業、出来事等）やそれに関わる重要な出来事の中から、将来に向けて夢や希望を与える出来事、県民幸福量の最大化に資する出来事、県政課題の解決に向けて取組みを積極的に進めたものを選びました。

◎県内初の鳥インフルエンザ発生 ー迅速な初動対応により72時間以内で封じ込め 〔4月～5月〕

～県内初となる高病原性鳥インフルエンザが発生。

4原則に基づく対応や関係機関の御協力により、最短の5月8日に清浄化～

◎水俣病被害者救済特別措置法に基づく救済判定が完了〔8月〕

～水俣病特措法の救済対象者が確定し、37,613人の方々が救済対象に～

◎「天草の崎津集落」の世界文化遺産推薦決定〔9月〕

～昨年に引き続き、県内の文化遺産が世界遺産候補として推薦決定。

くまもとの歴史・文化の磨き上げ、継承を後押し～

◎農地集積が進展し、メガ農業法人が相次いで設立〔9月、11月〕

～本県がモデルとなった農地中間管理機構制度の下、面積100ha超のメガ法人が誕生。

スケールメリットを生かした「稼げる農業」実現に期待～

◎新規航空路線が就航(台湾高雄定期チャーター便・熊本初LCCジェットスター)〔10月〕

～台湾セブンイレブンでの「熊本フェア」が盛況だった台湾との定期チャーター便や

国内の主要3国際空港をつなぐLCCが就航。“アジアとつながる”取組みが加速化～

◎全国初の「地下水と土を育む農業」を推進する取組みが始動〔11月〕

～農業を通じて地下水と土を育むことを目的とした条例制定に向け、

県民会議やシンポジウムを開催。県民運動展開のための気運を醸成～

◎九州を支える広域防災拠点構想の策定・推進〔通年〕

～構想を策定し、国への現地対策本部誘致の働きかけや阿蘇くまもと空港隣接地への災害

対応駐機場の整備などを進める。広域医療搬送訓練を実施～

(裏面へ)

◎“すべての道はくまもとに通じる”構想が着実に進む〔通年〕

～熊本と宮崎をつなぐ「九州中央自動車道」で県内初供用。また、大分をつなぐ「中九州横断道路」や佐賀をつなぐ「有明海沿岸道路」など幹線道路のネットワーク整備に向けた取組みが進む～

◎水銀フリー熊本宣言の実現に向けた取組みの推進〔通年〕

～水銀の使用削減等のため具体策の検討及び国への提案、海外の水銀専門家の育成支援、県庁新館のLED化、水俣条約1周年フォーラムの開催など、水銀フリー社会の実現に向けた取組みを開始～

◎フッ化物洗口によって健康寿命の延伸を目指す〔通年〕

～県内の7割の小中学校（熊本市除く）でフッ化物洗口実施へ。
生涯を通じた歯と口腔の健康づくりに取り組む～

（プラス1項目）

◎くまモン今年も大活躍〔通年〕

～くまモン商品の海外販売の開始、くまモンの全都道府県訪問達成、アジア・ヨーロッパ・アメリカへの訪問など国内外問わず今年も大活躍～